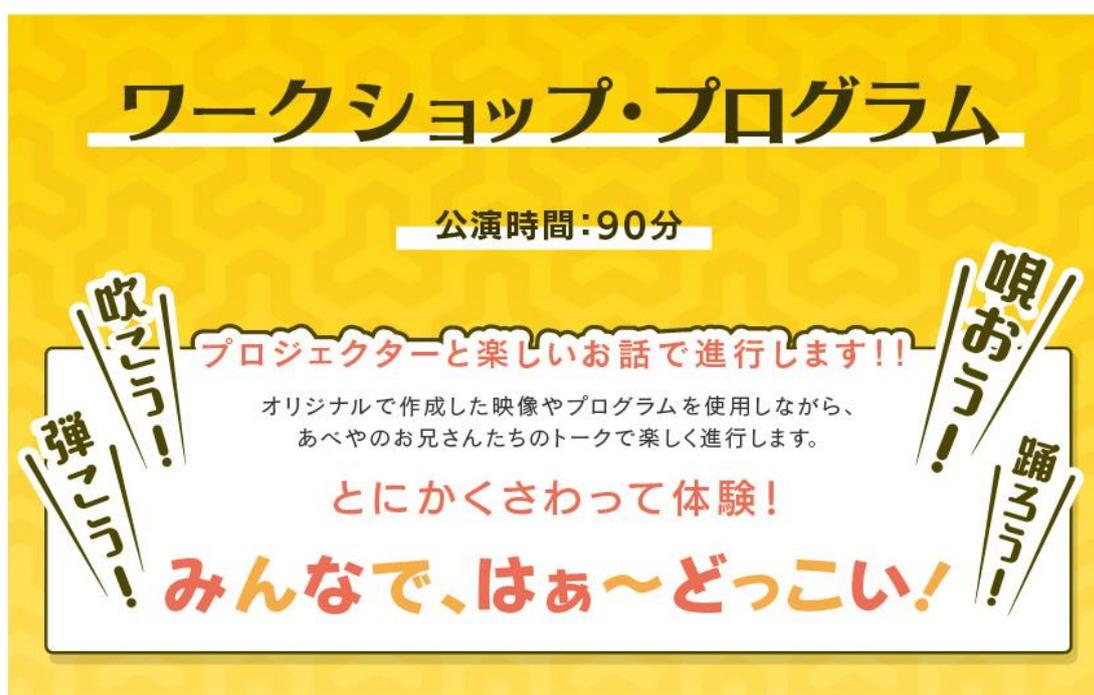


令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社 三六屋
公演団体名	津軽三味線 あべや

内容



The poster features a yellow background with a subtle pattern. At the top, the title 'ワークショップ・プログラム' is written in large, bold, black characters. Below it, '公演時間:90分' is displayed in a white box. The central text, 'プロジェクターと楽しいお話で進行します!!', is enclosed in a white, torn-edge-style box. Below this, smaller text describes the use of original video and programs alongside conversations with the troupe members. The phrase 'とにかくさわって体験!' is written in red, followed by the main slogan 'みんなで、はあ〜どっこい!' in large, colorful characters. The poster is decorated with stylized, vertical text elements: '吹マシム!' on the left, '弾マシム!' on the far left, '唄おシム!' on the right, and '踊マシム!' on the far right.

ワークショップ・プログラム

公演時間:90分

プロジェクターと楽しいお話で進行します!!

オリジナルで作成した映像やプログラムを使用しながら、あべやのお兄さんたちのトークで楽しく進行します。

とにかくさわって体験!

みんなで、はあ〜どっこい!

一、津軽三味線の音色を楽しむ まずは一曲、ご挨拶！

○津軽三味線の演奏

曲目は、地域や生徒さんの状況により当日即興演奏します。

二、津軽三味線ってなあに？ プロジェクター上映

○津軽三味線を知ろう！（解説）

何の動物の皮や角でできているの？津軽三味線とはどこから生まれたもの？津軽三味線のルーツとは？などなど他の三味線との違いをわかりやすく解説。（プロジェクターを用いて、実物とあわせてわかりやすく解説）



○三味線の弾き比べ！聞き比べ！（三線(さんしん)・細棹三味線・津軽三味線）

津軽三味線の特徴を理解した後は、三線と細棹三味線と津軽三味線の音色や弾き方をご説明します。実際にその形を見て、またその音色を聴いて、立体的にその違いを理解。

三、リクエスト演奏コーナー

その場で児童・生徒さんから、聴きたい曲のリクエストを受けます。
ポップス、ボーカロイドから演歌まで何でもOK!それを津軽三味線と尺八の和楽器で、
即興で演奏します。

四、民謡ってなあに？ プロジェクター上映

○民謡を知ろう!(解説)

日本全国津々浦々、変わらず唄い続けられている民謡のご紹介。
プロジェクターに日本地図を投影して、各地域の民謡またその地方の方言や風習などを
紹介します。

○民謡は旅をする?!(牛深ハイヤ節→佐渡おけさ→津軽アイヤ節→阿波踊り)

九州(天草)の漁師達の掛け声にリズムが加わったといわれる「民謡ハイヤ節」。
日本海、津軽海峡、太平洋を渡る「北前船」を介して、それぞれの生活の中に定着し、その
地域ごとの変化を遂げた民謡となっています。牛深ハイヤ節、佐渡おけさ、津軽アイヤ節な
ど実際に演奏して同じ曲である民謡がどの様に地域によってアレンジされたのか、プロジェ
クターを用いながら明快に解説します。民謡が地域風土により変化することを深く知ること
ができます。



「北前船」

江戸時代から明治時代にかけて
活躍した主に買積み廻船の名称。



新潟県

佐渡おけさ



青森県



津軽アイヤ節



熊本県

牛深ハイヤ節



徳島県

阿波踊り

「牛深ハイヤ節」は本公演において、プロの演奏と、児童・生徒さんの手拍子、
合いの手を合わせて賑やかに演奏します。

○民謡クイズ!



プロジェクターを使いクイズ形式で民謡を楽しみます。

正解はメンバーが唄って答えます。

五、弾こう! 吹こう! 触ろう! 踊ろう!

○体験コーナー

色々な和楽器やお祭りの道具を自由に触れる体験コーナーです。



触ろう!



弾こう! 吹こう! 触ろう! 踊ろう!

津軽三味線を弾く! 尺八を吹く! 見たこともない銭太鼓を鳴らす!

笠をかぶれば気分は踊り手!

出来る限り全ての児童・生徒さんが各楽器に触れることができるよう効率的に、
班を分けて、それらの音や感触を実感してもらいます。

体験コーナー

ワーク
ショップ

大人数の場合は、下記のような自由に触れるスペースを
もうけて生徒さんや来て頂いた方全員に、自由に体験していただけます！



太鼓



三味線

ワークショップの様子



演奏



三味線聞き比べ



民謡が旅をする



三味線の説明

タイムスケジュール（標準）

※午前9:00～10:30ワークショップ公演の場合

スタッフ及び出演者到着・準備開始

8:00～8:40

生徒入場

8:40～9:00

ワークショップ ※ワークショップ中に先生とスタッフで本公演の打合せを行います

9:00～10:30

撤収

10:30～11:30

派遣者数

出演者： 3名

スタッフ： 1名

合計： 4名

学校における事前指導

特にワークショップの前に指導していただく内容はあります。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 三六屋
公演団体名	津軽三味線 あべや

演目





一、白狐行列 オープニング演出 サプライズ登場!

黒澤明監督の映画「夢」のなかの1シーン「狐の嫁入り」をモチーフにしています。奏者と代表の生徒さんが白狐の面をかぶり、客席後方から登場し、舞台に向かってゆっくりと動いていきます。さらに後ろには虚無僧に扮した尺八奏者が続き、尺八の荘重な音色が客席を抜けてゆきます。その幻想的な雰囲気を見て楽しむのは勿論、ちくはぐな行列の滑稽さと仕草が客席の笑いを誘います。

【使用楽器】尺八／太鼓



二、妖気太鼓 和太鼓 ちょっと怖いけど太鼓の迫力炸裂!

唸るような尺八の音にあわせて鬼の面をつけた奏者が登場します。その出で立ちのまま、生徒さんの目の前に置かれた太鼓を激しく叩きます。和太鼓＋幻想という不思議な感覚で体育館をより一層非現実的な邦楽の世界へと変えてゆきます。

【使用楽器】和太鼓／尺八



三、飛舞 津軽三味線&和太鼓 本格的な邦楽公演スタート!

いよいよ津軽三味線が演奏に加わります。徐々に太鼓と共に盛り上がり、賑やかな演奏を展開します。伊勢音頭と津軽じょんがら節を曲中に入れた楽曲は和の迫力と雅やかさを表現しています。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／尺八



四、鹿の遠音尺八などより 邦楽器の代名詞たる尺八の響き

尺八は中国唐の時代から今に伝わる伝統楽器。
素材は竹のみというシンプルながら、音色は大変奥深いものがあります。伝統曲などを演奏して、その趣を響かせます。

【使用楽器】尺八



五、嵐津軽三味線&尺八 体突き抜けるハイテンポな三味線と尺八の音色

津軽三味線と尺八の特異なコラボレーションです。それぞれの音色の融合が生み出す新しい和の音を追究した創作曲です。

【使用楽器】津軽三味線/尺八

六、津軽三味線曲弾き対決津軽三味線 プロの演奏はこんなにすごい!

毎年行われている津軽三味線全国大会で実際に弾かれている技を駆使した対決をご覧ください。実力伯仲の津軽三味線奏者が一堂に介し、体育館を大会会場にみたく、それぞれの演奏技術を存分に発揮します。

【使用楽器】津軽三味線



七、「関東一番太鼓」和太鼓 体育館を包む大迫力の重低音!

戦後に確立された現在の和太鼓の世界。その創成期につくられた「大江戸助六太鼓」の流れをくむ奏者によるオリジナル曲。荒々しい和太鼓の中に江戸の粋な小技を組み込んだ、まさに魅せる太鼓演奏です。

【使用楽器】和太鼓

八、体験 太鼓教室和太鼓体験 やってみると意外と難しい...、楽しい体験!

和太鼓の体験コーナーです。挑戦する生徒さんには最初は簡単なリズムを、徐々に学年でレベルをわけ、複雑なリズムをたたいてもらいます。そして最後には代表の先生に登場してもらい、さらに難しいリズムをたたいていただく体験コーナーです。



【使用楽器】和太鼓

九、地元の民謡民謡 地元で伝わる誇りの民謡!

地元やその地域に伝わる民謡をプロの民謡歌手と生徒さん、近隣の方、皆さんで唄い、地元の良さを再発見する民謡コーナーです。また得意な人は、舞台上上がって唄ってみませんか?

【使用楽器】唄 他

十、日本民謡紀行民謡 必ず一度は聴いたことがありますよ!

民謡の世界を五感でお楽しみ下さい。まずそのステップアップとして皆さんに手拍子で参加してもらいます。盆踊りで聞いたことある唄、教科書に記載してある唄など有名な民謡をメドレーにします。

【使用楽器】唄 他/尺八

曲例 | ソーラン節、こきりこ節、斎太郎節、北海盆唄、九州炭鉱節、東京音頭などから3曲ほど

十一、**体験** 牛深ハイヤ節 （熊本県民謡） 民謡 思わず体が動きだす賑やかな曲！

民謡に触れるステップ2として、唄の合間に入れる「唄囃子（合いの手）」で、みなさんに参加していただきます。

一度練習して、本番では低学年と高学年、生徒さんと先生などに分かれ“さっさあよいよい、よいさあよいさあ”とその威勢を競ってもらいます。

【使用楽器】唄 他/R八

十二、「安来節～どじょう掬い～」 （島根県民謡） 神楽パフォーマンス

島根県を発祥とする「どじょう掬い」は、現在全国大会が開催される程、日本人が一度は見たことのあるパフォーマンスです。飛び出すように現れた踊り手は、様々な滑稽な仕草・表情を交えながら独特な踊りを演じます。

【使用楽器】津軽三味線／篠笛／唄／和太鼓

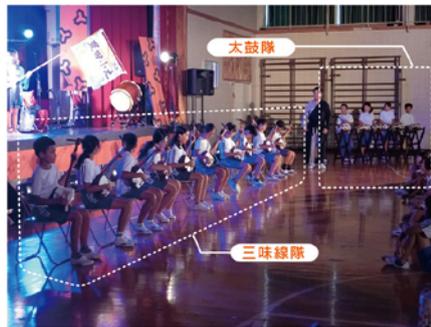


十三、**体験** みんなでソーラン！ みんなで踊って唄って、 体育館を漁場に変えよう！

津軽三味線、太鼓などの演奏を、生徒さん方も交えて一緒に演奏！

その曲は誰もが一度は聴いたことがある「ソーラン節」。演奏者は選抜された三味線・太鼓の代表の児童・生徒さん。その伴奏に合わせて、あべや民謡歌手が唄います。さらに当方でご用意した各校オリジナルの“大漁旗”を代表者が舞台の真ん中で振り続けます。他の児童・生徒さんは、唄ったり手拍子をしたり、全員で創り上げる北の漁場「みんなでソーラン！」です。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／笛／唄



十四、江戸寿獅子舞 舞躍パフォーマンス

日本全国にはその地域に根ざした獅子舞があります。その中で江戸寿獅子は、その舞を見るだけで御利益があるとされています。後半では、獅子が客席を降りて、みなさんの頭・体をかじります。最後に舞い手が獅子舞の簡単な説明をします。獅子頭には雄と雌のちがいがあのかを知っていましたか？

【使用楽器】太鼓／鉦／篠笛



十五、校歌合奏

三味線・尺八

児童・生徒さんが必ず知る各校の校歌を、あべやメンバーが邦楽風にアレンジして合奏します。普段はピアノで聴きなれた旋律が、三味線、尺八から奏でられます。会場全員で歌ってください。

【使用楽器】津軽三味線／尺八／鉦 など

十六、津軽じょんがら節

津軽三味線・太鼓・民謡・尺八

邦楽ユミットクライマックス!

津軽三味線の代表曲「じょんがら節」を演奏します。激しい撥さばき、太鼓の重低音、華やかな民謡を織り交せた大曲です。邦楽公演の締めくくりとして、ふさわしい曲を奏者全員で心をこめて皆様にお届け致します。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／唄／尺八



十七、銭太鼓 聴いて楽しい! 観て楽しい!

舞踊パフォーマンス

昔から民衆の楽しみと労働の柔和で唄われてきた民謡は、人前で見せるというエンターテインメント性を追求するものにも発展していきました。その一つがアクロバティックに筒状の太鼓を回す「銭太鼓」です。賑やかな曲に合わせて、二本の銭太鼓を素早く操ります。最後は、児童・生徒さん、先生・近隣の方々の、これからの幸せを祈って、おめでたく華やかにエンディングを飾ります。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／銭太鼓／唄



※休憩を途中で入れる事も可能です。※実施校さんの実情に合わせて、曲順・曲目を変更する可能性があります。

体験・展示ブース

開演前から、
終演後の余韻まで・プロの演奏を
聴いた興奮後もご自由にどうぞ!

三線・細棹三味線・津軽三味線を展示します。またワークショップで体験した銭太鼓やささらなどをご準備しますので、生徒さんだけでなく近隣の方もご覧いただき、自由に触って、音を出してもらいます。

本公演で使用している
楽器などの展示。
自由に触れて体験できます。

【楽器 + “地元ブース” を設置】

地元や県に伝わる民謡の歌詞やその背景などを展示します。また各校と相談の上、子供たちに伝え残したい物を展示。

【漁網でも農機具でも、何でもいいです】



地域の方と並に地元の民謡や物産等を
展示することで地元の風土を理解。



三味線のルーツを学べるコーナーです。
ワークショップのおさらいに!

派遣者数

出演者： 7名

スタッフ： 4名 合計： 11名

タイムスケジュール（標準）

舞台・音響・照明 準備

9:00～11:30

出演者到着

11:00

サウンドチェック

11:30～12:00

練習（津軽三味線・太鼓演奏の生徒さん）

12:40～13:00 ※各学校さんの時程により、変更可能です。

入場

13:00～13:30

公演

13:30～15:10

バラシ（片付け）

15:10～17:00

※体育館の状況（階数など）により、準備・バラシの時間が変更になる可能性があります。

実施校への協力依頼人員

特になし

演目解説

【三味線・民謡から多くを知る】

三味線の低高音からなる軽快なメロディー。また体が震えるほどの胸に響く民謡の歌声。実際に鑑賞していただいて感じる事が出来る経験です。また音色を感じるだけでなく、歌詞の意味や、民謡踊りの動き、それを解いていくと昔の人々の人情や風景、季節の美しさをつづったものが数多く歴史を垣間見ることが出来ます。

現代には数多くの音楽が溢れ、自由に選択することが可能です。しかし、昔の庶民に親しまれた音色・唄を聴く。それが今や珍しいことのようになっています。

心から音楽を感じ、表現する。そのことにより、《観る・聴く・動く・唄う》全ての感性に刺激することが可能なプログラムとなっています。

普段の生活では体験しうることが出来ない感動を感じる事が出来ます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

堅苦しく思われがちな日本の伝統音楽を、子ども達に親しみやすいMCと内容で、近く・楽しく感じてもらえるよう工夫。

・ワークショップでは、津軽三味線・太鼓の演奏体験。また民謡の発声練習等を行う。
また生徒さん全員での阿波踊り体験。

・本公演では、楽器演奏チーム(三味線・太鼓)と合唱チーム(唄)に分かれることによって、子ども達全員が伝統音楽に触れられる構成となっています。

児童生徒とのふれあい

・プロの演奏者が身近な存在となって子どもたちと一緒に演奏。

・本公演最初に行われる「白狐の行列」では、代表の生徒さんが演奏者と共に場内を練り歩きます。